

建物水平変位を確実に記録 感圧式地震変位記録装置(オービット)

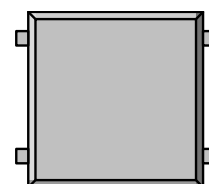
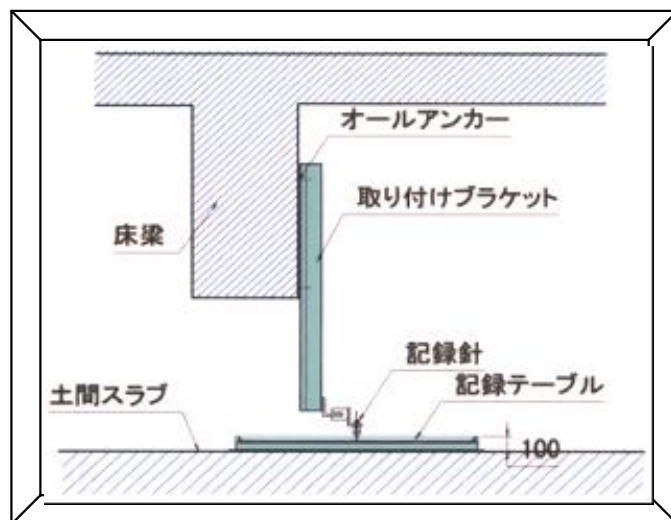
感圧式地震変位記録装置は免震装置を設置している建築物の水平変位の軌跡を記録します。

- 機構がシンプルで確実に機能する。
- 設置が容易である。
- ステンレスとアルミ合金製材料を用いて耐久性抜群
- けがき部がフィルムタイプなので取替が容易。
- 記録フィルムに同心円表示が可能である。
- 必要な部分だけカットを行い持出しできる。
- 設置場所の状況により分割型の製作が可能である。
- 床面より高く記録部を設置するので万が一の浸水でも記録部への冠水が防げる。
- 通常のフィルム用紙(0.125mm)より厚いフィルム(0.140mm)を採用して破れにくい。

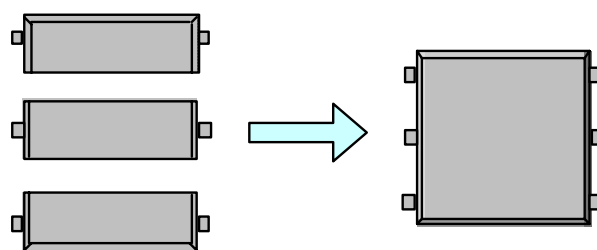
設置例



設置断面図

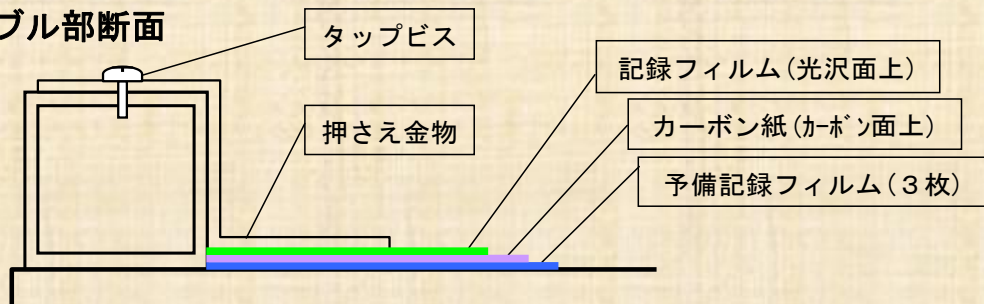


記録テーブル一体型



記録テーブル分割型

記録テーブル部断面



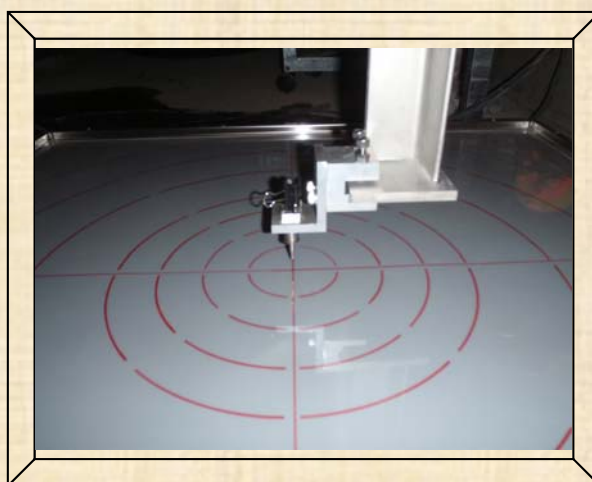
記録フィルムの交換手順

- ① 記録フィルムと接しているステンレスピン針を持ち上げ、記録フィルムに接しないように固定します。
- ② 記録テーブル縁と押さえ金物を固定しているタップビスをドライバーで取り外し、押さえ金物を取り除きます。
- ③ 記録フィルムを取り出します。
- ④ カーボン紙の下に収納されている予備記録フィルムをカーボン紙の上にセットします。この時、光沢のある側を上に出します。
- ⑤ 記録フィルムを押さえ金物で押さえ、タップビスをドライバーで固定します。

実機による記録例



同心円表示



項目	内容
記録方法	ステンレスピンによる感圧式記録方式：記録フィルムは簡単に交換が出来ます
記録範囲	1200×1200 mm：指定のサイズに製作致します。
けがき部の構成	記録フィルム、カーボン紙、予備記録フィルム(3枚)
記録テーブルのサイズ	標準で1262×1262mm（一体型）：指定のサイズに製作致します。
取付け方法	記録テーブルは後施工アンカーにて床に固定 取付けブラケットは梁側に後施工アンカーにて固定

▪ 施工実績：全国で70台（2012年12月現在）

お問い合わせ

<http://www.nikkoken.com>



日本工業検査株式会社
計測システム事業部

〒210-0001
神奈川県川崎市川崎区本町1-5-16
Tel : 044-222-9002 Fax : 044-246-2840

環境計量証明事業登録
騒音:第37号 振動:第7号